

竹にいのちせ
吹き込んで

昭和5年 20歳で尺八を
始める。40年 岳南竹友
会を設立。60年 静岡県
三曲連盟より功劳賞受賞。



尺八は、一尺八寸の竹。表に四穴、裏に一穴の合計五穴を、指と振動をうねく使って「メニ」と「ペリ」のある音を出します。

表情をつくり、姿勢をつくった名倉れんから命を吹き込まれた音たちは、歌つたり、歌わぬいたりしながら、聞く人の気持ちを豊かに感じとります。

不思議な色気と、人を酔わせる魔力の音たちは、今度は生き生きと何かを語り始めるのです。



昭和五年、大学生の名倉英雄さんのお耳に、先輩の吹く尺八の名曲「松風」が聞こえてきました。哀調のある響きが、心にしみ通りであります。

当時の主相は不景氣でもす食ぐる」とが優先。そんな中で、二十歳の主尺八を習い始めます。

當時の世相は不景氣で、
ます食べることが優先。
そんな中で、七十歳の時
尺八を習い始めます。
尺八寸の竹。表に四穴、裏
五穴を、指と振動をいじり、
と「う」のある繩を引いた

尺八は、一尺八寸の竹。表に四穴、裏に二穴の合計五穴を、指と振動をうけて使つて「メラ」と「ヘリ」のある樂器である。

表情をつくり、姿勢をつくりたる食事
なんかの命を吹き込まれた音たちは、歌ひ
たり、歌ひそむいたりしながら、聞く人の
気持ちを繊敏に感じとります。

不思議な世界へと
人を運んでゐる魔力の
音だけは、今度は生れん心と何かを握り
始めるのである。

A horizontal sequence of seven grayscale images showing a document page being processed by a machine. The images show the paper being scanned from left to right, with the text 'EXCELSIOR' appearing and becoming clearer in each frame.



平成2年度「富士市教育文化奨励賞」の表彰式が、5月3日、富士商工会議所で行われました。この賞は、文化活動に貢献した方々に贈られるものです。今回は、邦楽の名倉英雄さんほか3人です。

受賞された方々は、人生のどこかで「何か」と出会い、「きょう」より「あす」はと努力を重ねてこられました。果てしなく、高みを極めたいという変わらぬ情熱。きょうも、行動し実践されています。



舞 跳

昭和33年 日本舞踊を
始めます。
昭和44年 泉流々
平成2年 日本舞踊を
取り。日本舞踊を
踊協会会長賞受賞。
（本名 北河裕紀子）



文書

昭和50年 文芸賞。平成元年 詩の部で市民
の部で県芸術祭賞。現在、随筆
市民文芸編集委員会座長

釣谷芳男さんの作品を、一冊です。
あらわすのは大変です。

鋭いのに暖かくて——、粹でア
マートなのには昔を含んで——
があるのにいかんで——。荒野
に独り生れる、野武士のことや威
性。でも、そこにはいつものどん欲に
じを探す、それもまた確かな眼があり
ます。

戦争とうまにトンネルの時代をくぐり抜けてきたせいか、「現代は、しゃべり過ぎの時代だ」と、釣谷さんはいいます。語り口はとつと地味だけれど、書かれた物と同じように、もだを省いた本物のじだけが伝わってきます。

それがかなも自信と謙虚さが、泉
裕紀さんを、明るい輝かせていま
す。若の時に、堂々とした存在感
があるのです。

四歳の時、日本舞踊を始める、
十五歳の時にはもう、泉流宗家か
ら名取りを許されてしまいます。

文化戦後援、日本舞踊協会主催

「後援、日本舞踊協会主催
春舞踊大会」の朝、家事を
済ませた京さんは、東京
の会場に駆けつけます。
化粧し衣装をつけると
主婦から途端に別の世界
を生き始めます。
時には少女に、時には
傀儡師に、時には大人
ばになり、女の情念をすくえて
舞い込む、自由に変身する
のです。



自分だけの 色を探して

佐野 稔さん 60歳 さの みのる (松謹)

昭和24年 東京武藏野美術学校へ。26年 静岡県美術祭入選。52年からは市展絵画の部の招待作家。平成元年 日展入選。